

Frente



2020.9

vol.82

特集

フレンテみえ
“種まきプロジェクト”

はじめました！

よりよく育めば、よりよくなる。



- 特集「Road to ONLINE!
～オンラインへの道～」
- フレンテ所長★荻原くるみの紹介したい人!
第2回 湯浅しおりさん
- フレンテスタッフ コラム 第2回
あなたとわたしの『あたりまえ』を考える

事業案内

- 女性に対する暴力防止セミナー
ワタシがこの子をたたくワケ ～DVと虐待～
- パートナーとの関係で悩んでいる女性のためのグループ
—語り合う。自分を見つめる—
- 男性講座 怒りに負けない男をめざす
～しなやかな男のアンガーマネジメント術～
- 総文パープル・ライトアップ2020

イベントレポート

- オトナの女性の性講座
～人生後半の性生活～
- 女性のためのエンパワーメントスクール
「女性の想いをカタチに。ススム、変わる！」





フレンテみえ 「種まきプロジェクト」はじめました!

フレンテみえでは今年度から「種まきプロジェクト」を始動します!

「種まきプロジェクト」とは、働く場、地域や家庭、意思決定の場などで活躍するこれからの男女共同参画づくりに必要な人“財”を育成する事業。

自分も、まわりの人も、男らしく・女らしくではなく『自分らしく』生きられる人をふやすために、これから5年間、「地域編」「働く編」「社会の課題編」3つのテーマで“種まき”していきます!

まずは“地域編”をご紹介します。「女性の想いをカタチに。ススム、変わる!」の担当講師、西井勢津子さんにお話を伺いました!

この講座は、昨年度も「女性のためのエンパワーメント・スクール」として開催しており今年度で3回目の募集となりますが、今回リスタートする「種まきプロジェクト“地域”編」としても根底にある想いは同じだと感じています。自分の「やってみたい」想いをわいわい話しながら掘り下げて整理し、ことばにして発表する本講座。講師の西井さんからみて、これはどのような講座だと感じていますか?



西井勢津子さん（“地域”編 講師）

女性って仕事や家庭や子育てだったり、普段忙しいじゃないですか。そういったことをいったん脇において、自分自身のことを大事にするためにここに来て、先にすすめる何かを見つける。で、それが自分のためだけでなく誰かのためになる方向に向かう、そういう講座だと感じています。

ということばは必要なくなるのではと思っています。



前回の講座の様子

他力本願で「自分らしさ」を引っ張り出す

女性は特に、地域や公の場所で「女性だから・母親だからこうあるべき」ということに無意識に囚われてしまっている部分があると思うんです。それが自分より優先されてしまうと、素の自分を認めてあげることが置き去りになってしまう。素の自分って「ママコミュニティが苦手」とか理想にはほど遠い自分だったりしますから。自分自身の認知が不足していると、せっかく想いがある行動しても、結局無理や歪みが広がってしまうと思うんですね。でも実際には、自分で自分のことを深堀りして弱さを認めたり公開するのは難しい。この講座は、相互ワークなどで本当の「自分らしさ」を人の力や場の温かい雰囲気借着引っぱり出し、等身大の想いをことばにしていく、そんな場所だと考えています。

これは、私自身が経験してきたプロセスでもあるんです。地域社会の課題を解決したいとNPOで働いていた時期に、私は初めて自分の「らしさ」を他人から愛情込めて表現される経験をしました。そのたびに、力量不足も含めて自分はこれくらい未熟なやつで、自分の人生でほっとけないことはこれだと認知していった。そのプロセスは他者や地域への想いをカタチにしていくスタート地点として、とても大切だと思うんです。

自分で自分を認められると、お互いを認め合えることも増えていくと思うので、今後地域社会で、女性が男性も含めた話し合いのテーブルについた時、相手も自分も尊重することができ、それが結果として対等な話し合いになる。そうなったら、もう「ジェンダー」や「エンパワーメント」

みなさんへのメッセージ

想いにむけてすすんでいくのに、遅いとか早いということはないと思います。情報にたどりついたとしたら、今がそのタイミングです。「完璧に整えてから行こう」とか、「準備できたら行こう」と考えていると、その時はいつまでもおきないので（笑）、準備のない状況でも、「今がタイミング」と思ってすすんでもらえたらと思います。

あと、今「なんだかもやもやしてる」人もいると思うんですが、それは心が動いている時期だと思うんです。絶対、何か動こうとしている原動のものがあっての「もやもや」なはずなので、もやもや大歓迎です!

自分の想いをことばにすることによって自分が変わったり、まわりが生きやすくなったり暮らしやすくなったりする。自分もまわりもいい方向に波及する。すでにやりたいことがある人も、もやもやしている人も、みなさんの中に素敵な想いや力があると思います。みなさんに会場でお会いできることを楽しみにしています。



前回受講生のみなさんと



これまでの「ススム、変わる!」講座の様子や受講生のインタビュー記事は、こちらからご覧いただけます。今回の西井勢津子さんインタビュー《ノーカット版》も、特設サイトで公開中!

「女性の想いをカタチに。ススム、変わる」特設サイト <https://www.center-mie.or.jp/omoi/>

今年度のフレンテみえ「種まきプロジェクト」のラインナップをご紹介します!

I 地域編

「女性の想いをカタチに。ススム、変わる!」(全4回・連続講座)

2020年10月31日(土) 10:00~16:00

2021年 1月16日(土) 10:00~12:30

1月30日(土) 10:00~16:00

3月 7日(日) 10:00~12:30

日時

会場/三重県生涯学習センター2階 まなびラボほか(三重県総合文化センター内)

受講料/無料 要事前申込(先着順) 定員/20名程度

講師/西井 勢津子さん《第1・2・4回》(株式会社地域資源バンクNIU 代表取締役)

森谷 哲也さん《第3回》(ポノボ代表 <http://bonobojapan.com/>)

託児/対象 1歳6ヵ月~小学3年生・対象年齢外は応相談

料金 子ども1人につき1回500円 要事前申込 託児申込は各回の2週間前まで



令和2年度チラシ

II 働く編

“自分なんか”→“自分だから”へ

近未来リーダー★育成プロジェクト(全3回・オンライン開催)

社会人の皆さん! その長い長い社会人生活、どうせ働いたら「自分らしい」キャリアをデザインし、進んでいきたいと思いませんか?

女性も男性もあらゆる可能性を“自分なんか”と諦めず、“自分だから”こそ描ける未来に向けて必要な意識・知識・スキルを年ごとにしっかりと学んでいく「ステップアップ型」の新しい人財育成講座が始まります!

初年度は、「固定観念にとらわれず柔軟な人生設計を描けるようになるための入門編」として、全3回「オンライン」開催! 勤務先やご自宅などどこからでも参加できます。内容や募集対象など、詳しくはホームページをご確認ください。

(10/1(金)~受付開始)

vol. 1 「“令和型キャリアデザイン”のススメ」 2021年1月13日(水) 13:30~15:00

講師/藤井 佐和子さん(株式会社キャリアエール代表取締役、キャリアアドバイザー、ダイバーシティコンサルタント)

vol. 2 「気づいて! あなたの中の“アンコンシャス・バイアス”」 2021年1月22日(金) 13:30~15:00

講師/毛利 雅一さん(一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所 パートナー講師)

vol. 3 「人口ボーナス期×オナーズ期 組織も社員も成長する働き方とは」 2021年1月29日(金) 13:30~15:00

講師/新井 セラさん(株式会社ワーク・ライフバランス ワーク・ライフバランスコンサルタント)

III 社会の課題編

コロナ禍を生きる私たちが知っておきたいこと

~非常時に深刻化する暴力 地域が果たせる役割とは~

私たちが暮らしていく中で起きている、様々な“社会の課題”について焦点を当て、知ること、自分たちでできることについて一緒に考えていく講座です。今年のテーマは「非常時に深刻化する暴力」。新型コロナウイルスの蔓延により、私たちがとりまく状況は一気に変容しました。災害時もそうですが、そのような非常時には日頃の“社会の課題”がより深刻化してしまうことが報告されています。非常時に何が起きているのか、まずはコロナ禍や災害時に実際に起きている様々な事例について知り、地域社会が、私たちができることについて一緒に考えてみましょう。

日時 2020年12月6日(日) 13:30~16:30

会場/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」3階 セミナー室C

講師/正井 禮子さん(認定NPO 法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ 代表理事)

参加費/無料 要事前申込(先着順)

定員/40名

託児/対象 1歳6ヵ月~小学3年生・対象年齢外は応相談

料金 子ども1人につき1回500円 要事前申込 託児申込締切11/22



正井 禮子さん (※オンライン出演)

フレンテが強い想いを込めてスタートするこのプロジェクト。でも、ただ“種”をまくだけではうまく育っていきません。自分らしさの「花」を咲かせるには、講師からの“栄養”だけでなく、皆さんひとり一人の持つ“光”も必要です。さあ皆さん、このプロジェクトと一緒に「自分育て」してみませんか?

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況により内容の変更や日程の延期、オンラインへの変更、または中止となる場合がございます。最新の情報は、フレンテみえホームページでご確認ください。

性にする」と安倍総理も宣言していたこの目標ですが、実状は目標からほど遠く、事実上断念することとなりました。政府は今後、年内にも閣議決定する第5次男女共同参画基本計画に、「20年代の可能な限り早期に30%」「30年代には誰もが性別を意識することなく活躍できる社会を目指す」などの新たな目標を盛り込むとしています。

令和2年度 事業案内

11/23

女性に対する暴力防止セミナー ワタシがこの子をたたくワケ ～DVと虐待～

幼い子どもが親からの虐待により命を落とす事件が相次いでいます。それが母親であった場合、「子どもを守るべき母親がなぜそんなことを？」と、世間の非難が集中します。母親であれば自らを犠牲にしても子どもを守り、愛しぬくものだと考える人が多いからでしょう。では、虐待や育児放棄をしてしまう母親は子どもへの愛情に欠ける、特別に冷酷非情な人間なのでしょう。



子どもへの虐待の陰には多くの場合、父親から母親へのDVが潜んでいます。自らがDVの被害者でありながら、子どもを虐待する加害者へと追い込まれていく母親には何が起きているのでしょうか。母親と子どもたちを救うために、周囲の人間にできることはないのでしょうか。カウンセラーとして長く家族の問題に取り組んできた信田さよ子さんにお話いただきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況により開催日の延期やオンライン開催への変更、または中止となる場合がございます。最新情報は、フレンテみえのホームページをご確認ください。

日時 11月23日(月・祝) 13:30～15:30

会場 三重県文化会館1階 レセプションルーム

対象 テーマに関心のある方(定員:50名)

参加費 無料 要事前申込(先着順)

講師 信田 さよ子さん
(原宿カウンセリングセンター所長/公認心理師/臨床心理士)

託児 あり 要事前申込
1歳6ヶ月～小学3年生程度 子ども1人につき500円
託児申込締切11/8

10/28～

パートナーとの関係で悩んでいる女性のためのグループ —語り合う。自分を見つめる—

「パートナーから傷つくことを言われた。」「こんな時、他の人はどうしているのかな?」「こんなふうを感じる私はおかしいのかな?」「誰かに聞いてみたい。私の話も聞いてほしい。」「だけどうまく話せるかな?わかってもらえるかな?」



そんなふう感じて一人で悩んでいませんか?

パートナーから暴力を受けている時、誰かに相談することが難しく、孤独感を持ったまま傷つきが深くなっていく人が大勢います。安心してください。あなただけではありません。人から受けた傷は、人との繋がりの中で癒されます。同じ悩みを持つ女性同士、安全な場所で、塗り絵や簡単な工作を楽しみながら、温かい雰囲気の中で語り合ってみませんか。辛い日々を生き抜くヒントが見つかるかもしれません。

全6回

日時 10月28日、11月25日、12月23日
2021年1月27日、2月24日、3月24日
(各第4水曜日) 13:30～15:30

会場 三重県総合文化センター内

対象 パートナーとの関係で辛い思いを抱えている女性、
パートナーからの暴力に悩んでいる女性(定員8名)

参加費 無料 要事前申込(先着順)

託児 あり 要事前申込
1歳6ヶ月～小学3年生程度、子ども1人につき500円
託児申込締切 各回の2週間前まで

11/7～

内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」(パープルリボン運動) 総文パープル・ライトアップ2020

女性に対する暴力根絶のシンボルである「パープルリボン」をご存知ですか。毎年11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」(パープルリボン運動)期間です。内閣府が呼びかけるパープル・ライトアップに賛同し、今年も総文の広場を紫色にライトアップします。

生活スタイルや価値観を大きく変容させたコロナ禍の生活不安・ストレスにより、DV(※)の急増や深刻化が世界規模で懸念されています。いかなる状況下でも、暴力で女性の人権を著しく侵害することは、決して許されるものではありません。

「ひとりで悩まず、まずは相談してください」そして、「周囲の人は気づいてあげてください」紫色の光に込めたこのメッセージがより多くの方々に届くことを祈って、今年も灯します。

※DV(ドメスティック・バイオレンス)…配偶者や恋人など親密な関係にある(あった)人からの暴力のこと



日時 11月7日(土)～11月25日(水)
17:00～21:00 ※休館日を除く

会場 三重県総合文化センター 祝祭広場ほか

令和2年度 事業案内

11/29

男性講座

怒りに負けない男をめざす

～しなやかな男のアンガーマネジメント術～



最近テレビのニュースを見てはイライラ、SNSを見てはイライラ、車の運転中にもイライラ…コロナの影響もあり生活様式が大きく変わっている中で、何となく「最近怒りっぽくなってるな…」「イライラしやすくなってるな…」と感じている方も多いのでは。

ハラスメント、自粛警察、あおり運転…世間を賑わせている問題の中には、人の『怒り』の感情から引き起こされているものも多いのではないのでしょうか。今、『怒り』の感情との付き合い方が多くの人に関心を集めています。

そこで、男性の方向けに今注目の『アンガーマネジメント』を学ぶ講座を行います! 「怒りっぽいと仕事もプライベートもうまくいかなくなる…そんなことは分かっているけど、どうすればいい?」そんな気持ちを抱えるアナタ、ぜひご参加ください!

『怒り』の感情は誰もがもっています。その『怒り』との上手な付き合い方を学び、一緒に『怒り』にとらわれない『しなやかな男』をめざしませんか。

日時 11月29日(日) 13:30~16:00

会場 男女共同参画センター「フレンテみえ」2階
セミナー室A

対象 テーマに関心のある男性(定員:40名)

参加費 無料 要事前申込(申込者多数の場合は抽選)

講師 角井 孝次さん
株式会社きらめき労働オフィス代表/
アンガーマネジメントファシリテーター

託児 あり 要事前申込
1歳6ヶ月~小学3年生程度 子ども1人につき500円
託児申込締切11/15

EVENT Report



オトナの女性の性講座 ～人生後半の性生活～

開催日 6月25日(木)

2月に実施予定だった講座が延期となり、コロナウィルス感染防止対策を徹底して6月に実施しました。参加者同士が“ソーシャル・ディスタンス”を取りながら語り合う難しさを感じながらの実施となりましたが、北勢地域から東紀州地域まで、定員を大きく超えるお申し込みがあり、三重県内でも性について女性が語り合う場が必要とされていることが分かりました。

講座の中では参加者のそれぞれの体験や疑問などが話し合われました。すでに県内で性に関する活動を始めてみえる方や、これから始

めたいと思っている方も参加されており、県内の人財の豊富さも確認することができました。

参加者からは「大人の女性を対象とした講座はあまりないので、ぜひともっと開催してほしい」「知らない事が多くて、とても参考になりました」「このような性に関する講座を希望します」との声が聞かれました。

今後も性に関する講座の実施を検討していきます。

女性のためのエンパワーメントスクール

女性の想いをカタチに。ススム、変わる!

開催日 令和元年10月19日～(全4回)

「やってみたい! こう変えたい!」という想いをもち女性があつまり、話し、つながり、整理してその想いをことばにする講座を開催しました。前回の好評をうけ2期目の開催となった今回は、前受講生からの口コミも広がり、定員を超える24名にお申込をいただきました。

お互いに自分の想いや考えについて話をしたり、ワークで自分の考えを深く掘り下げて整理したり、実現のためのアイデア出しをしたりと、和やかな雰囲気の中、あっという間に各回が過ぎていきました。4回目の発表は新型コロナウイルスの影響により延期となりましたが、受講生OGにも参加いただいた中でオンラインでの発表に挑戦し、最後の学び合いまで終了することができました。

参加者からは、「想像していた以上に楽しく、有意義な時間だった!」「素敵な仲間とのご縁がいただけた」などの感想も聞かれました。みなさんの素晴らしい想いに触れながら、やはり、女性の「想い」には様々なまちの課題や未来へのヒントが隠れており、今後それぞれの地域での活躍が期待される講座となりました。



苦手だから、という人も… 今だからチャレンジしてみよう!

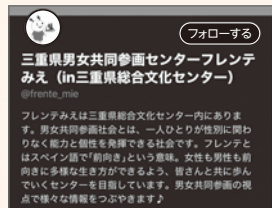
Road to ONLINE! ~オンラインへの道~

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、新しい生活様式を取り入れることが呼びかけられ、いたるところで「オンライン」「動画配信」といった言葉を耳にするようになってきました。

そんな中、フレンテみえでも動画配信やSNSを使っのての情報発信を始めました!「インターネットはよくわからないから…」と、今まで『オンライン』と名の付くものには挑戦してこなかった方も、このコロナ禍を新しいことに挑戦するチャンス!と“前向き”にとらえて、フレンテみえと一緒にオンラインの世界をのぞいてみませんか?

フレンテみえでは、これまで発信していたTwitterに加えて、今年からInstagramを始めました!
イベントのご案内やフレンテみえの日常風景などを紹介しています。

Twitter



ツイッターとは?

自分が伝えたいことを140文字以内の文章にして投稿します。手軽に投稿(ツイート)できるので、「いま起きていること」についてリアルタイムに発信されることが多いです。

公式Twitterはこちらから



このような形の二次元コードを「QRコード」といいます。

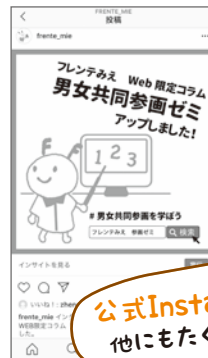
Instagram



インスタグラムとは?

ツイッターが文章中心の発信なのに対し、Instagramは写真や動画の投稿に特化しています。自分が撮った写真や動画などを投稿し、他の人と共有することでコミュニケーションを楽しみます。

公式Instagramはこちらから



公式Instagramはこんな感じ
他にもたくさん!

Twitter, Instagramの見方

スマートフォン(以下スマホ)をお持ちの方なら、だれでも簡単にご覧になれます!

- ① お手持ちのスマホの「QRコードリーダー」をタップ(押す)して起動
- ② スマホの画面に表示されている「枠」に、左にある「QRコード」を重ねて読み取らせる
- ③ ページを閲覧するためのアプリ(Google ChromeやMicrosoft Edge)を選んでタップ(押す)

※接続方法の一例です。お手持ちの機種によって操作方法が異なる場合があります。
※お手持ちのスマホに「QRコードリーダー」が入っていない方は、お近くのパソコンに詳しい方に聞いてみてくださいね。

その他にも…Youtube動画も登場!

フレンテみえのホームページでは新コーナーとして、「New LIFE Style」をOPENしました!このコーナーは、普段フレンテみえの講座などでお話ししている内容を、あなたのおうちでちょっとお試し体験できるコンテンツを用意していきます。おうちにいる空き時間に、ちょっぴりフレンテみえを感じてみてください。これからいろいろなコンテンツが随時追加されていく予定です。お楽しみに!

「New LIFE Style」内のコンテンツ YouTube「だいたい3分でわかるシリーズ」

男女共同参画に関わるいろいろな用語やトピックスについて、フレンテみえのAI(?)職員、「上津部田アイ」が「だいたい3分」で説明する動画です。

- ① QRコードを読み込んで動画ページへGO!!



- ② ここをタッチ! 動画が始まります!

“オンライン”はこわくない!

オンライン飲み会、オンライン診療、オンラインお墓参り、そしてオンライン授業。最近よく聞くこの「オンライン」は、「インターネットに接続している状態」のことを言います。

いま、なかなか会えない人と自宅でお互い顔を見ながら話ができたり、研修や講座、コンサートや演劇など様々なイベントを体験できたりしますが、特に今年は感染症対策の観点からも、「オンライン(生配信)」が増えてきています。(フレンテみえでも開催予定!)
オンラインと聞くと「難しそう…」「私には関係のない世界」と感じてしまうかもしれませんが、やってみると意外と簡単ですよ!
あなたの世界がどんどん広がるこの「オンライン」に、みなさんもチャレンジしてみませんか?



いかがでしたか? お手持ちのスマホで「QRコード」を読み取るだけで、いろんなサイト、情報にアクセスすることができるようになります。フレンテみえでも、これからいろんな情報を発信していく予定! お楽しみに!

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※インターネット上には根拠のない情報・不確かな情報もたくさん出回っています。手に入れた情報が正しいかどうか、情報源をしっかりと確認するようにしましょう。

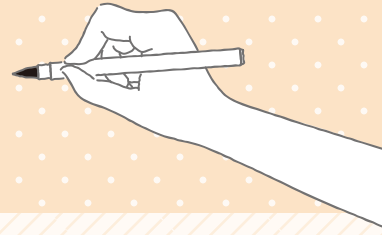


フレンテみえ所長の荻原が厳選した「皆さんに紹介したい人」のお話をお届けするコーナー。第2回は、今年の4月、フレンテみえ1階にオープンしたステップアップカフェ「だいたい食堂」の代表をされている湯浅しおりさんにお話を伺いました!



フレンテ所長
荻原くるみの

紹介したい人!



— 第2回 湯浅しおりさん(ステップアップカフェだいたい食堂) —

湯浅さんは尾鷲で、給食配給センターとレンタル会場を提供する「株式会社OCK Ba-mi」と「NPO法人あいあい」の活動を通して、地域活性化に貢献されています。また、熊野庁舎で「^{だいたいや}橙々屋熊野店」、尾鷲市内で「夢古道おわせ」のランチバイキングと「orangeダイニング」の2店舗、津駅前と三重県男女共同参画センター内で「^{だいたいや}橙々屋」と「だいたい食堂」を展開。食にこだわりをもって、活躍されています。

どんどん膨らみ、借金も莫大になっていました。その時ふと、「NPO法人あいあい」の8つの介護関連施設それぞれで食事を作って提供するのは非効率ではないかと気づいたんです。そこで、厨房を一本化してできた会社が「株式会社OCK Ba-mi」です。介護福祉の関連施設は「NPO法人あいあい」で、食べ物関係は「株式会社OCK Ba-mi」でやっています。

◎ 橙々屋にはまだどり着いてないですが…?

これもたまたまですが、津駅前のうどん屋さんが店を辞めると聞いて継いだのがきっかけです。実は、尾鷲では障がい者支援事業も行って。もともと支援をと思って始めたのではなく、働き手に偶然障がいのある方もいて、個性を生かしたモノづくりもしています。うどんの麺も作っていて（私は実はラーメン派なのですが）これは商品になる!と感じ、即答で「やる」と返事しました。

◎ 店のカウンターにはオレンジ色のタブレットが置かれていますが、これは?

これで各施設の管理者と会議や打合せをしています。三密を避けるためにできるだけタブレットでやっています。最近では、若い人たちが育ってきて、私がいなくても仕事が動くようになっています。逆に私も仕事していることを知らせるためにも、朝7時に電源を入れて皆に存在感をアピールしています（笑）



◎ 働く上でのポリシーを教えてください。

「NPO法人あいあい」や「株式会社OCK Ba-mi」では職員の子どもを無視しない働き方をしています。子どもと一緒に成長して、高校生になるとバイトしてくれるようになっていきます。みんなが家族みたいで、「共に働いている」という気持ちでやっています。

◎ 最後に読者の皆さまにメッセージを!

好きなことが仕事につながることは少ないのではないかと思います。が、“チャンスを生かす”という覚悟があれば自分の道が拓かれると思います。実行した後の達成感は最高!何があっても自分の責任という覚悟があれば、なんでもできます!

一人ではなく皆に支えられているという感謝。何かあっても自分が責任をとるという覚悟。この2つがそろえば、「最強のチーム」です!

◎ 起業されたり、「橙々屋」をオープンされたりした経緯を教えてください。

17歳から16年間看護師をしていて、違う世界を見たいなあとずっと思っていたところ、訪問介護事業大手の東京の会社が全国展開で尾鷲にもきたんです。福祉の世界も見てみたいと思い、加わりました。その時、地域の介護の実態と大手が展開する介護があまりにもかけ離れていたことに驚



き、その事業で知り合った3人で、半年後「NPO法人あいあい」を立ち上げました。当時は「起業」という言葉も知らず、自分たちのやりたい「24時間365日介護」という方針を掲げて始めました。働き手を募るのに、小さい子どもがいるお母さんたちに声をかけ、それぞれの事情に合わせて「働きたい時、可能な時に働く」「子づれ出勤可」としました。今も人手不足知らずです。

◎ では、食べ物を扱うようになったのは?

これもたまたまですが、「夢古道おわせ」というお店のランチバイキングの働き手が高齢化し、商工会議所から参加してほしいとオファーがありました。医療や福祉の分野では「接遇」が大事と思いながらも方策が見つからずどうしたものかと思っていたので、接遇を学ぶ絶好の機会、職員の研修の場になると思って始めました。その時、先輩方からたくさんの知恵を学びました。

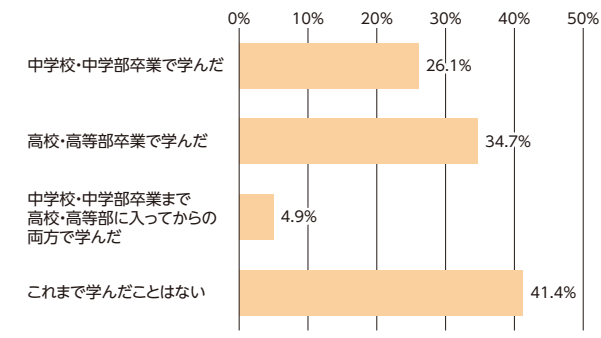
一方、自分は立ち止まらず走り続けてきたので介護関連の事業が

フレンテスタッフ
コラム
第2回

4回シリーズ あなたとわたしの『あたりまえ』を考える
「思春期に“芽生えるもの”って、なに？」

「思春期になると、異性への関心が芽生える」
この言葉を聞いたとき、あなたはどうか感じますか？

実はこれは小学校の学習指導要領に載っているフレーズで、同性愛のみを想定した書き方となっています。多くの学校ではこの指導要領ののっぴり教育が行われてきました。フレンテみえが、平成28・29年度に県立高校2年生を対象に実施した調査「多様な性と生活についてのアンケート調査」では「学校でこれまで性的マイノリティについて学んだことがない」と答えた割合は41.4%という



※図1 多様な性と生活についてのアンケート調査 無回答2.7% N=10,063
「性的マイノリティ」について、学校で学んだことがありますか

結果が出ており(※図1)、多くの生徒たちが性の多様性に関して十分に教育を受けていないことがうかがえます。

さらに過去には辞書で「同性愛」が「異常性欲」として説明されていた時代もありました。当時子どもだった当事者たちからは、学校で聞いた「異性への関心が芽生える」という言葉に疑問を持ち、家で辞書をひいてみたところ「異常性欲」という四文字に大きなショックを受けた、というエピソードを聞くことも多いです。当時の子どもたちが人知れず傷つき、不安を抱えていただろうと想像できます。

学習指導要領が変わらないのと同じように多様な性について触れていない学校もまだまだたくさんありますが、最近では多様な性に関する取組を進めている学校もあり、同性愛や性別違和の話を取り入れる事例も増えてきました。辞書でも「LGBT」の項目が追加されたり、一部の出版社が教科書に多様な性に関する解説を掲載したりするなど、時代は変わりつつあります。たった一言、「異性に関心を持つだけがすべてではない」と伝えることができるかどうかで、子どもたちの未来が変わります。

「思春期になると…」
あなただったらどうやって子どもたちに伝えますか？

このコーナーでは、多様な性を身近に感じ、誰もがもつ「思い込み」について考えるコラムをお届けします。
次回もお楽しみに！



★「情報誌Frente vol.82」についてのご意見をお聞かせください！(Webでの回答は10/31まで)
回答はこちらから→ https://www.center-mie.or.jp/frente/information_magazine/enquete



フレンテみえって、なに？

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流という「5本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください！

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ

検索

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど…
男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ 専用ダイヤル 059-233-1133 相談室

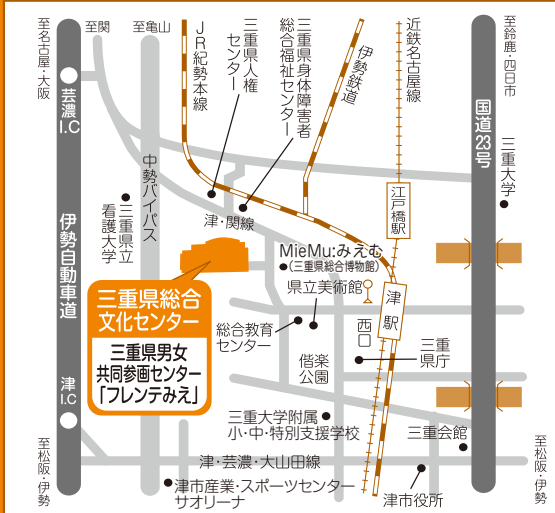
相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00～12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00～15:30	休館日	●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00～19:00	※	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

※このほか女性のための面接相談、法律相談と男性のための電話相談、LGBT電話相談を実施中です。詳しくはお問合わせください。

フレンテみえ相談室のご案内 (切り取ってご利用ください)

三重県男女共同参画センターまでのご案内



- 休館日 毎週月曜日 年末年始(12月29日から1月3日)
- 交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分 ■徒歩/津駅西口から約25分
■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
※駐車場は1,400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行

MIE CENTER FOR THE ARTS 三重県総合文化センター

三重県男女共同参画センター フレンテみえ

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地

TEL 059-233-1130 FAX 059-233-1135

URL <https://www.center-mie.or.jp/frente/>

E-mail: frente@center-mie.or.jp

再生紙を使用しています。